

韓国の”多文化”状況

「外国人市民の社会参加と多文化共生の
まちづくり」
於)静岡文化芸術大学 2010/10/30
愛知県立大学(社会福祉学科)
山本かほり

1. はじめに

- 1990年代初めのソウルの風景
(ソウル大学周辺での学生街での生活
下宿・共同生活・学生運動の名残
外国人＝米軍, 華僑
+ 路上で中国の漢方薬(民間薬)を売る
中国朝鮮族

1990年代初めのソウルでの生活から

- イメージ: 労働力の送出国としての韓国
→ 1970年代までは労働力を海外に
(下宿近くの屋台のおじさん = 産油国へ
アルバイト先の上司 = ホワイトカラーとして
産油国へ
語学研修中の仲間: 在独僑胞・在米僑胞を
中心として移民の第二世代の留学

1990年代初めのソウルでの生活から

- 1988年のソウルオリンピックを経て、
受け入れ国へ
→ TVのドキュメンタリー: フィリピン人労働者の実情
(“不法労働者”としての実態, 韓国での差別の
実態を描いたもの)
- 1992年 中国との国交樹立
→ 中国朝鮮族の入国
(「親族訪問」という優遇, また, 農村の男性との結
婚)

韓国人の「アイデンティティ」

- 「単一民族」「単一文化」「単一言語」
- 「純血主義」
→社会的アイデンティティの核心としてきた
- 日本による植民支配に抵抗する形で形成されたもの。
朝鮮社会の文化的優越主義・文化的同質性によるアイデンティティの確立

韓国人の「アイデンティティ」

- 「韓民族の純血性」
→父系血縁主義が家族制度の基本
結婚＝直系家族の維持
→「仲媒結婚」(見合い結婚)の奨励
→「国際結婚」に対する否定的な考え
(Chul-In Yoo, 1993)

韓国社会の変化

- 1987年 民主化の達成
- 1992年～ 初の文民政府・金泳三政権での「世界化」(グローバル化)の議論

急速な近代化(「圧縮された近代」)

韓国社会の変化

- 急速な少子化(低出産)
合計特殊出生率
1970年代:4.53
1980年代=家族計画によって、2人以下
1.6水準で推移
その後(日本よりも早いスピード)
2004年 1.16, 2005年 1.08, 2007年 1.
2008年 1.19, 2009年 1.15

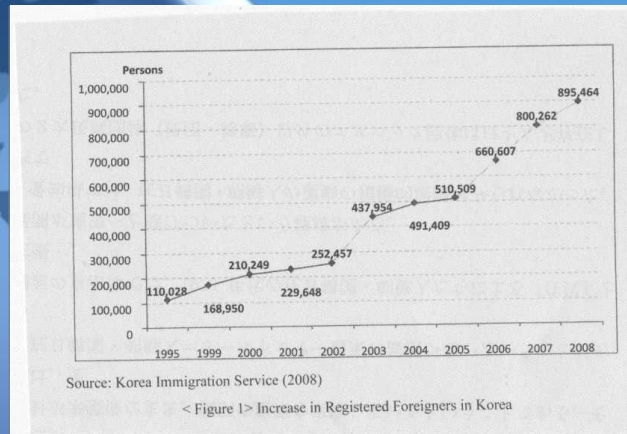
韓国社会の変化

- 産業構造の変化
 - 労働者不足
 - 都市化(農村の困難)
 - 「結婚難」
 - ↓
 - 日本と似たような背景をもって外国人の流入が増加

韓国における外国人数の推移

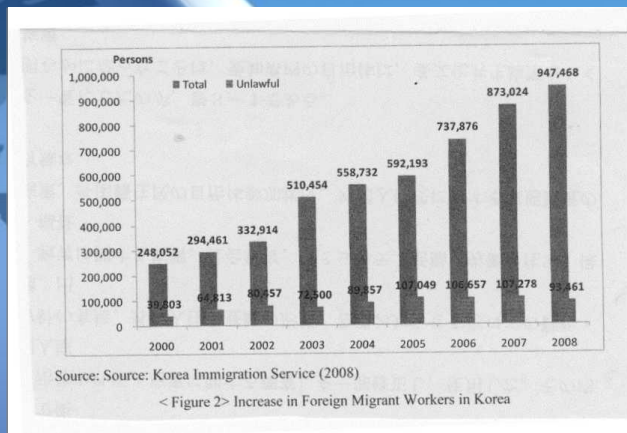
- ここ15年で急増
外国人登録者数
- 1995年:約11万人
- ↓
- 2008年:約90万人
- つまり, 8倍
- * 非正規滞在を入れると100万人を超えている
(人口比 約2%)

外国人登録者数の推移(韓国)



出典: Chang, 2010

外国人労働者の推移(韓国)



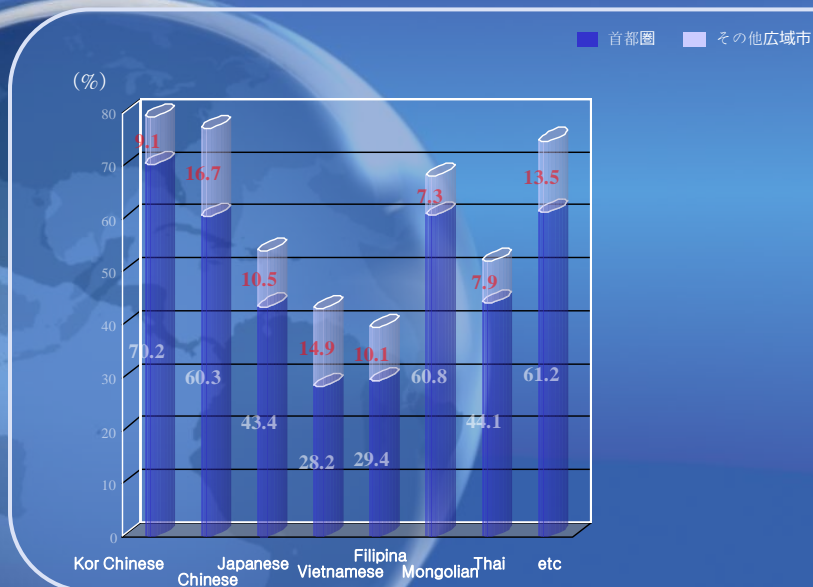
出典: Chang, 2010

国際結婚の推移

년도	Japanese	Chinese	Filipina	Vietnamese	Thai	Mongolia	Cambodian	American	etc
1990	175	88						268	88
1991	224	106						232	101
1992	1,223	429						249	156
1993	826	1,851						230	202
1994	561	2,043						227	241
1995	1,412	8,450						188	315
1996	2,370	9,271						228	778
1997	1,075	7,362						213	616
1998	1,004	4,688						1,514	848
1999	1,248	2,883						280	1,364
2000	1,131	3,586	1,358	95	270	77		235	552
2001	976	7,001	510	134	185	118		265	817
2002	959	7,041	850	476	330	195		267	899
2003	1,242	13,373	944	1,403	346	318	19	323	1,246
2004	1,224	18,527	964	2,462	326	504	72	344	1,171
2005	1,255	20,635	997	5,822	270	561	157	285	1,198
2006	1,484	14,608	1,157	10,131	273	594	394	334	1,233
2007	1,665	14,526	1,531	6,611	531	745	1,804	377	1,350
総計	20,054	136,468	8,311	27,134	2,531	3,112	2,446	6,059	13,175
構成比	9.1	62.2	3.8	12.4	1.2	1.4	1.1	2.8	6.0

出典: Chung, 2009

結婚移住女性韓国内居住状況(行政部, 2007居住外国人実態調査] 出典: Chun 2009



急激な外国人の流入

- 社会問題を引き起こす
- 例)外国人労働者への人権侵害
「外国人産業研修・研修就業制度」(-2004まで)
→未登録労働者の方が条件がいいという矛盾(労働者の権利がないため)
低賃金・移住の自由なし・社会的権利なし

急激な外国人の流入

- 社会的な問題
- 例2)仲介業者を介する人身売買に近い
国際結婚
- ソウル市内の地下鉄の宣伝
“逃亡しません”
郊外の町の横断幕 “ベトナム女性と結婚しよう！”

政府としての対応

- 2000年頃まで
外国人：管理・統制の対象
→方針転換（国際人権条約機構による勧告）

中央政府レベル

- 2006年「外国人政策基本方向及び推進体系」
外国人の人権尊重と社会統合
優秀な外国人誘致の支援
→多民族・多文化社会への転換を宣言

法制化（韓国）

- 2007年4月 「在韓外国人処遇に関する基本法」可決
→「社会統合」を明文化
↓
地方自治体へ（行政自治部 「居住外国人支援業務指針」「居住外国人支援標準条例案」「居住外国人定着支援業務便覧」
→自治体による外国人支援の必要性

地方参政権(永住外国人)

- 2005年
永住の資格を取得して3年以上、19歳以上の外国人に地方参政権
↓
実際の効果はこれから？

国際結婚家庭の支援

- 農村部での急増
夫の職業＝農林漁業従事者の35.9%が
国際結婚
→人権問題, 差別, 文化的障壁

国際結婚家族への支援

- 仲介業者への規制強化(2007年)
- 2008年「多文化家族支援法」
→全国80カ所「多文化家族支援センター」
※言語と文化教育を中心

法制レベルでは迅速かつ慣用
＞外国人労働者

少子高齢化社会への対応

- 韓国:2000年に「高齢化社会」(7% 65歳以上)
- 2018年には「高齢社会」(14% 65歳以上)
→国際結婚もこのような人口動態の推移の中で位置づけられる
→人間の再生産の場である「家族」
＝国際結婚(社会の基盤が揺らぐともいえる)
※国家権力の積極的な対応として政策化？



つまり……

- 韓国の家族基盤の維持としての国際結婚家族を支援
→「家父長的家族福祉モデル」(金, 2009)
という側面も否定できない。



しかし、「単一民族」観からの脱出

- 「単一民族」理念の修正
→教科書レベルでも修正を検討

「新しく再編される韓国社会または韓国人が、民族と文化の多様性を通して新しい歴史を創っていくべきである」

(『KOREANA』15巻2号 2008)

ただし……

- 実際の施策は、「多文化家族」支援に偏重
 - 労働者の問題:「雇用許可制」
 - 権利保護と同時に定住防止(3年まで) 非熟練労働者の受け入れを法制化
- 中国朝鮮族:言葉は通じ合うことから, 多文化共生施策が不要?! → 必要
(訪問就業査証)

日本が学ぶべきこと

- 少子高齢化という社会構造の変化
 - 日本と共通の基盤
 - ↓
 - 非熟練労働者の受け入れ, 中央政府主導の外国人政策の展開など示唆
- 「単一民族主義」というアイデンティティからの離脱
Cf) 日本: 旧植民地出身者とその子孫への対応